

巻頭言

親会社の長銀が崩壊し長銀総研コンサルティングの解体を余儀なくされました。バブル崩壊を経て 21 世紀を迎えるにあたり、日本の経済・社会システムが大きな変革を迫られた時期でした。1999 年 1 月に新たに大手広告代理店のアサツー ディ・ケイの資本参加を得て価値総合研究所（価値総研）と改名、再出発をいたしました。

急速な人口減少・少子高齢化、グローバル化、情報通信技術革命、低炭素社会変革など激変する経済・社会環境は、個人、企業、行政のあらゆるレベルで、また、財政、雇用、社会保障、教育・福祉などの様々な分野で、私たちに次世代のための革新的なシステムの創出が求められています。

これらの革新的な経済・社会システムを創り上げるためには、時代の潮流を的確に読み、既成概念にとらわれない発想と新しい価値の創造・創出が不可欠であり、まさに時代のキーワードは「価値のマネジメント」ではないかと考えています。私ども価値総研は社名に「価値」を冠し、この「価値のマネジメント」をキーコンセプトに、幅広い分野で価値の創造と価値の提言によりお客様の課題解決を支援するリサーチ&コンサルティングを提供することを使命としてまいります。

価値総研は、個人の生活をより豊かに快適に過ごすための「生活価値の創造」、社会貢献を通じて企業価値を高める「企業価値創造」、ビジネスの新しい枠組みを構築する「事業価値創造」、企業が新しい時代に生き残っていくための「市場価値創造」、社会システムの効率化、活性化をもたらす「社会価値創造」といったあらゆる「価値の創造」に取り組み、新たな時代を切り開く先導者としての気概を人一倍持ったプロフェッショナルな集団として、お客様の役に立つべく積極的なチャレンジをしてまいります。

価値総研として再出発してから早くも 10 年が経過しました。再出発して約 3 年後の 2001 年 12 月に株主から従業員に全株式を譲渡してもらいました。所謂、MEBO (Management Employ Buy Out) を実施し、独立・中立のコンサルティング会社として再々出発し、私どものやり方で企業価値の創造に取り組んでまいりました。

おかげさまで純資産ゼロから 5.6 億円の会社に成長しましたが、一昨年のリーマンショックを引き金とした経済活動の低迷により経営的には成長の踊り場に来ています。これまでのビジネスモデルでは成長の限界に来ていますので、新たな拡大発展を指向した成長戦略を描き、自己変革を断行し、新たな成長シナリオに挑戦する段階にあります。自分自身の企業価値創造に向けた取り組みを進めるとともにお客様の様々な価値創造において”Best Value”を提供すべくがんばっていきたいと思っています。

代表取締役社長 黒川 俊夫